

在宅取組型・体験活動参加型(小学校)

学校名等	養老町立笠郷小学校
実施日時	① 令和5年7月14日(金) ② 令和5年11月14日(木)・27日(木) ③ 令和5年毎月第3日曜日
会場	① 会議室 ② 給食棟 各教室 ③ 各家庭
参加人数	① 30名 ② 57名 ③ 169名
学習課題(分野)	① 寄せ植え教室(命の大切さ) ② 給食試食会(基本的な生活習慣・家族の大切さ) ③ 情報モラル(自制心・社会のルール)
運営者の願い	① 体験活動を通して保護者同士の交流の場を設けることで、横のつながりを生み出したいと思い、企画した。 ② 給食試食会を通して、子ども達が食べている量や、内容、また、栄養教諭がどのような想いで献立を作成しているのかを知ることで、食育への関心を高め、家庭での食事に生かしてもらいたいと思い、企画した。 ③ 養老町のスマイル宣言を受けて、自宅で親子のコミュニケーションを増やしたいと考え、企画した。
学習の内容	
<p>① 寄せ植え教室</p> <p>地域の園芸店にお願いして親さんが参加しなくなる内容にし、体験活動を通して保護者同士の交流の場を設けることで、横のつながりを生み出したいと考え、多肉植物の寄せ植え体験を行った。</p> <p>たくさんの種類の多肉植物の中から数種類を選ぶ際には、和気あいあいとした雰囲気では話が交わされ、隣同士で相談しながら寄せ植えを行う姿が見られた。</p> <p>今回は、アンケートを Google Form で行い、QRコードから答えていただくことで、家庭教育学級委員の集計作業の軽減を図った。時間のあるときに回答できるため、参加者にとっても、主催者側にとっても好評であった。</p> <p>② 給食試食会</p> <p>新型コロナ第5類移行を受け、4年ぶりに集合形式で給食試食会を行った。</p> <p>養老町は自校給食となっており、高学年は給食棟、低学年は各教室で喫食している。</p> <p>調理員負担軽減のため、校外研修で給食をとらない学年がある日に設定し、該当の年の席で試食した。他学年の給食の配膳や、喫食の様子などを見学する時間も設けた。</p> <p>給食参観後は、栄養職員が講師となり、献立をたてる時の思いや工夫、成長期に必要な栄養素など、参加者の知りたい情報を中心に講話を行った。</p> <p>「参加して良かった。」と思っていただけに、事前に知りたい内容について共有したり、「試食会は参加できないが、給食を食べている様子は参観したい。」という保護者のニーズに応えられるよう動きを工夫したりした。</p> <p>4年ぶりの開催となったが、アフターコロナを意識した、持続可能な給食試食会の形を今年度提案することができた。</p> <p>③ 情報モラル</p> <p>養老町のスマイル宣言を受け PTA では『ノーゲームデー』『家族とお話タイム!』を行っている。毎月第3日曜日の家庭の日は〈ノーゲームデー〉とし、1日ゲームをしないで、家族でテーマを決め、会話の場をもつ取組をしている。</p> <p>「一緒に縄跳びをして遊んだ。」「ノーゲームデーの日以外でも、ゲームの時間が減ってきた。」など有効に時間を使ったり、普段ゆっくり話ができないことを話したりすることができたという感想をいただいた。</p>	



4年ぶりの給食試食会の開催

本年度の取組として、給食試食会の再開にあたっては、4年ぶりの開催ということで、給食を作る調理員や、家庭教育学級役員の負担軽減などを考慮し、持続可能な新しい形の給食試食会を企画することができた。

試食会・給食参観だけでなく、栄養教諭の献立作成に込められた工夫や、保護者に食育の意識を高めて頂けるように食に関する話題を含め、講話の時間を設けた。

試食会も講話も、保護者にとって大変好評であった。

